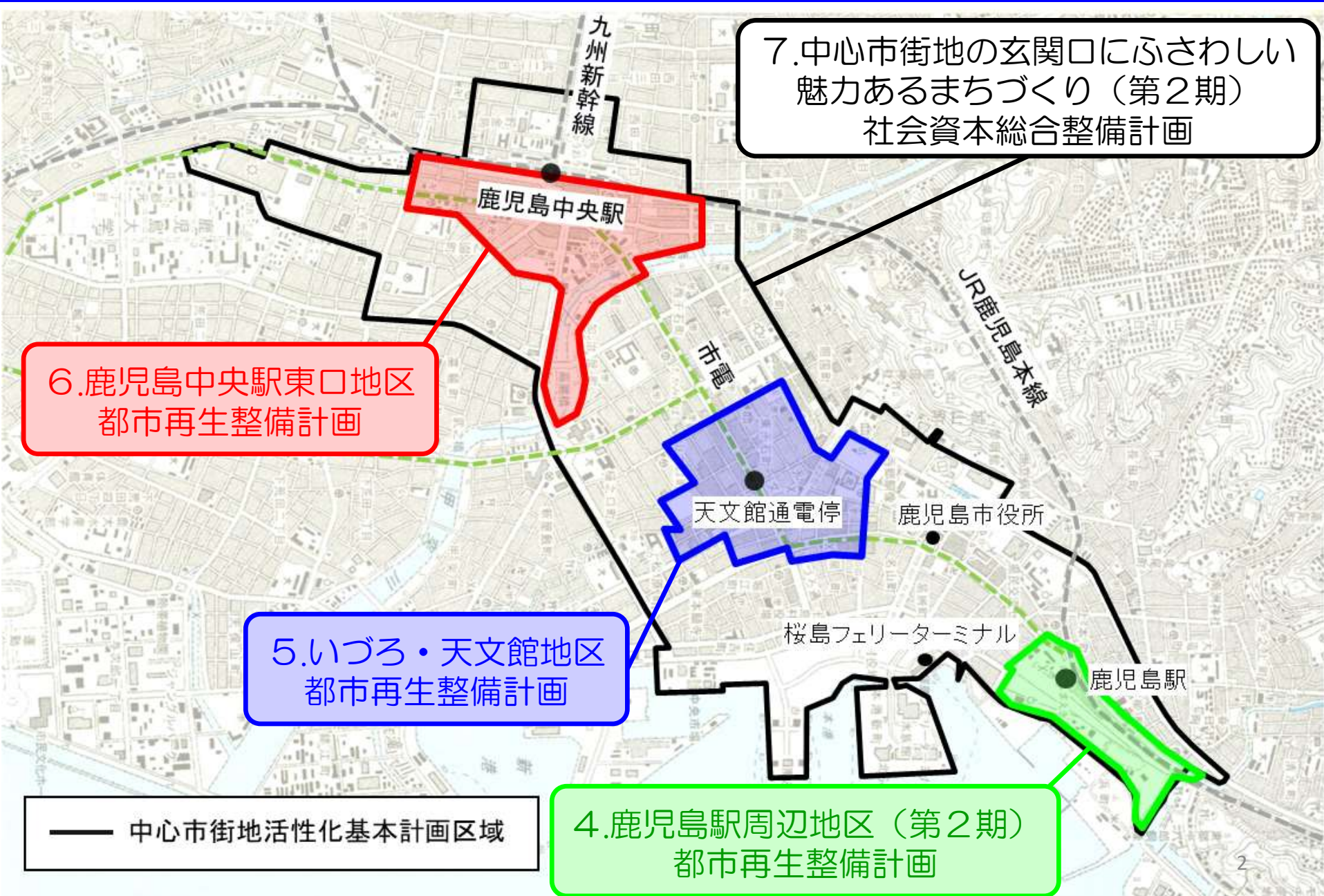


社会資本総合整備計画

〔中心市街地の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり(第2期)〕

事後評価(説明資料)

中心市街地における4つの計画の概要



- ・各地区における事業を色分け(緑:鹿児島駅周辺地区 青:いづろ・天文館地区 赤:鹿児島中央駅東口地区)
- ・同地区の事業が2つの計画に分かれているのは、国の制度改革などに対応しながら、国費を最大限確保するため。
- ・各計画の指標の目標値は、計画に位置つけた事業の効果に加え、関連事業の効果も見込んで設定している。

計画名	指標	計画に位置つけた事業	関連事業
4. 鹿児島駅周辺地区(第2期) 都市再生整備計画 〔H30～R4〕	1鹿児島駅前広場の 利用満足度 2鹿児島駅前広場への アクセス満足度 3鹿児島駅前広場 歩行者通行量	①鹿児島駅自由通路整備事業 ②上本町磯線道路改良事業 ③鹿児島駅前広場整備事業 ④自転車等駐車場整備事業 ⑤情報板整備事業 ⑥歩行者用上屋整備事業 ⑦照明灯整備事業 ⑧電線類地下埋設施設整備事業 ⑨事業効果分析調査	7-A 市電停留場整備 7-B 浜町1優良建築物
5. いづろ・天文館地区 都市再生整備計画 〔H30～R4〕	1いづろ・天文館地区の 土日の歩行者通行量	①まちなか図書館(仮称)整備事業 ②呉服町2・3番街区駐車場整備事業 ③呉服町2・3番街区自転車駐車場整備事業 ④呉服町アーケード設置事業 ⑤金生町アーケード設置事業 ⑥照国表参道歩行者天国社会実験 ⑦にぎわい創出事業(仮囲いペイント) ⑧まちづくり検討調査 ⑨事業効果分析調査等	7-C 千日町1・4番街区 市街地再開発事業 7-D 千日町1・4番街区暮らし・にぎわい再生事業
6. 鹿児島中央駅東口地区 都市再生整備計画 〔R2～R4〕	1鹿児島中央駅地区の 土日の歩行者通行量 2「KAGOCHU」のまち 案内活動の日数	①電車通りデッキ整備事業 ②地下通路民間広告社会実験 ③甲突川リバーサイド利活用事業 ④まち案内活動 ⑤事後評価分析調査	7-E 中央町19・20番街区 市街地再開発事業 7-F 中央町16番街区暮らし・にぎわい再生事業
7. 中心市街地の玄関口に ふさわしい魅力あるまちづくり (第2期) 社会資本総合整備計画 〔H30～R4〕	1中心市街地の土日の 歩行者通行量 2中心市街地の 入込観光客数 3鹿児島駅前停留場の 日当たり乗降客数	4 鹿児島駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画 5 いづろ・天文館地区都市再生整備計画 A 鹿児島駅前停留場整備都市・地域交通戦略推進事業 B 浜町1番街区優良建築物等整備事業 C 千日町1・4番街区市街地再開発事業 D 千日町1・4番街区暮らし・にぎわい再生事業 E 中央町19・20番街区市街地再開発事業 F 中央町16番街区暮らし・にぎわい再生事業	6. 鹿児島中央駅 東口地区都市 再生整備計画

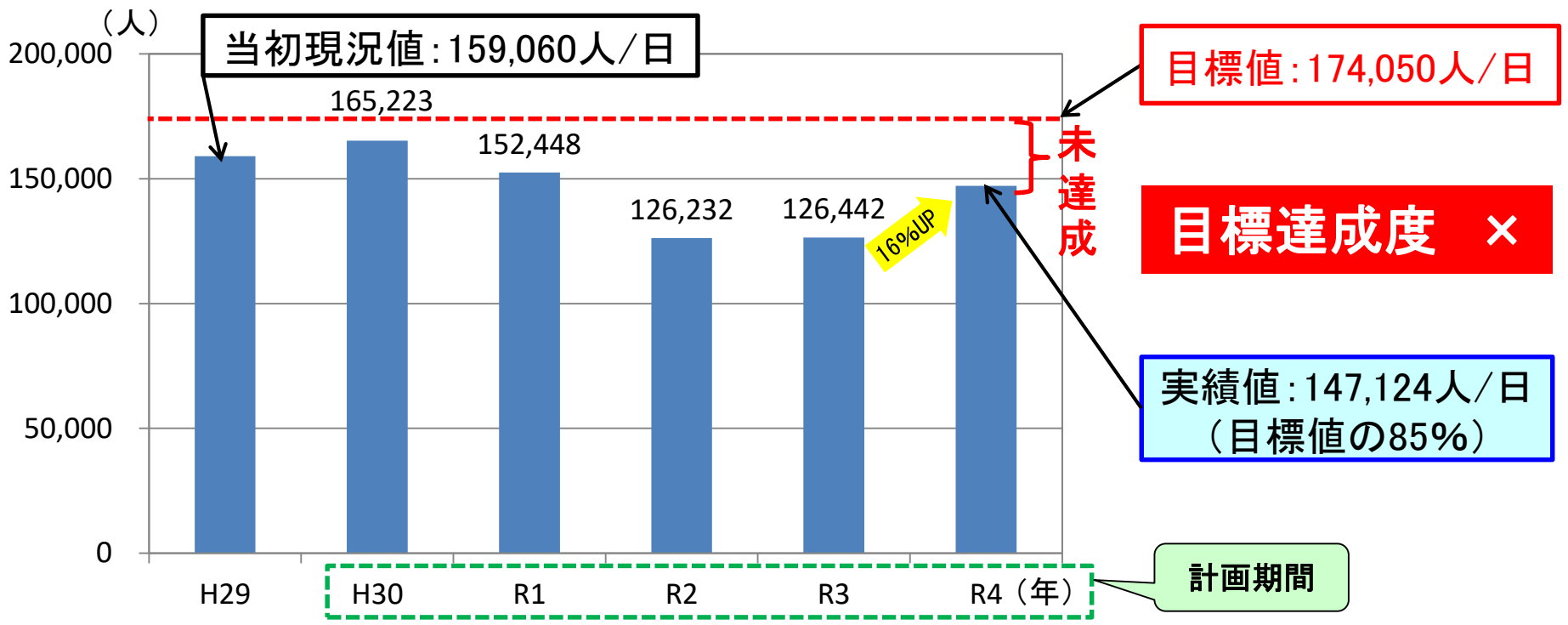
事後評価シート（指標）

2. 事後評価シートについて

II 定量的指標の達成状況

指標1：中心市街地の土日の歩行者通行量

土日平均の通行量（35地点）を調査（10月の第3週、8～20時）



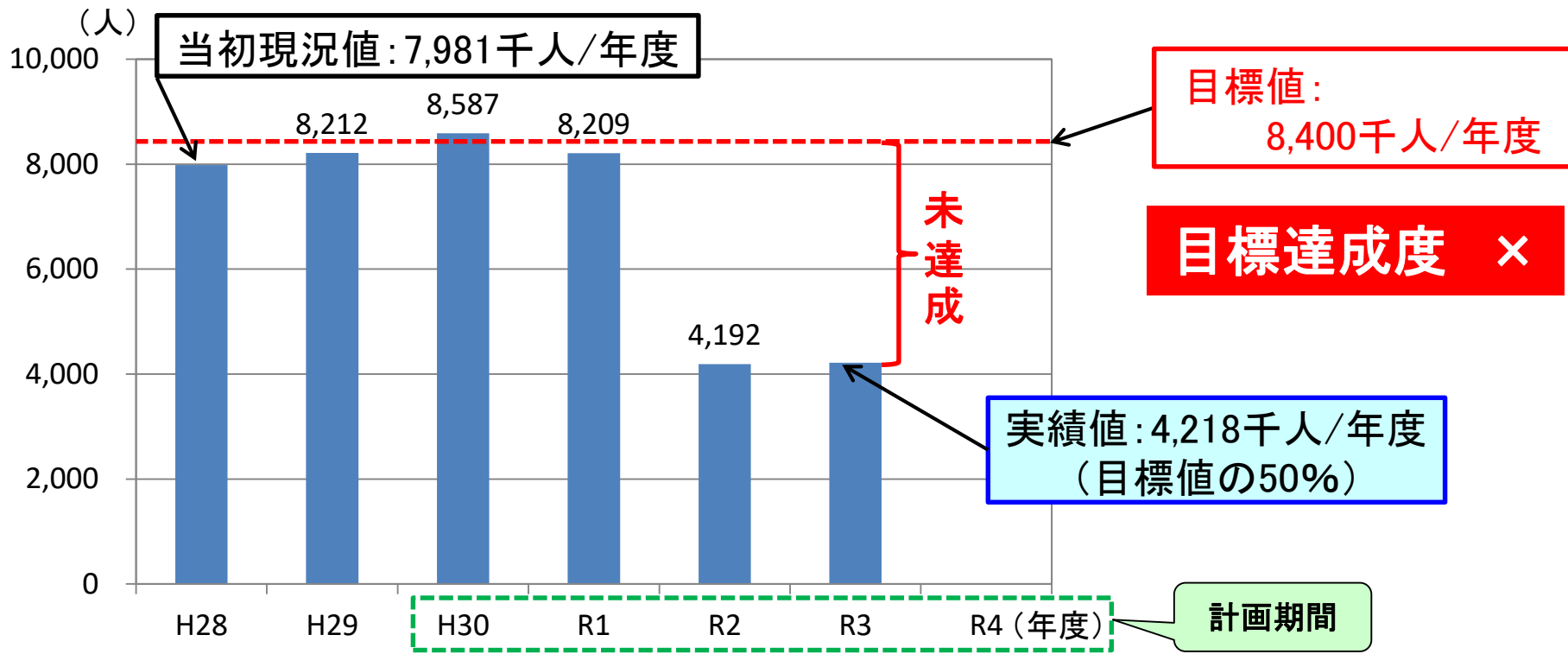
（目標値と実績値に差が出た要因）

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出機会が減少したことなどにより目標値の85%となったが、ライカ1920やセンテラス天文館の開業などにより4年度は3年度と比べ16%増加しており、コロナが収束すれば、その効果の継続などもあり1年以内の達成が可能と考える。

2. 事後評価シートについて

II 定量的指標の達成状況

指標2：中心市街地の入込観光客数



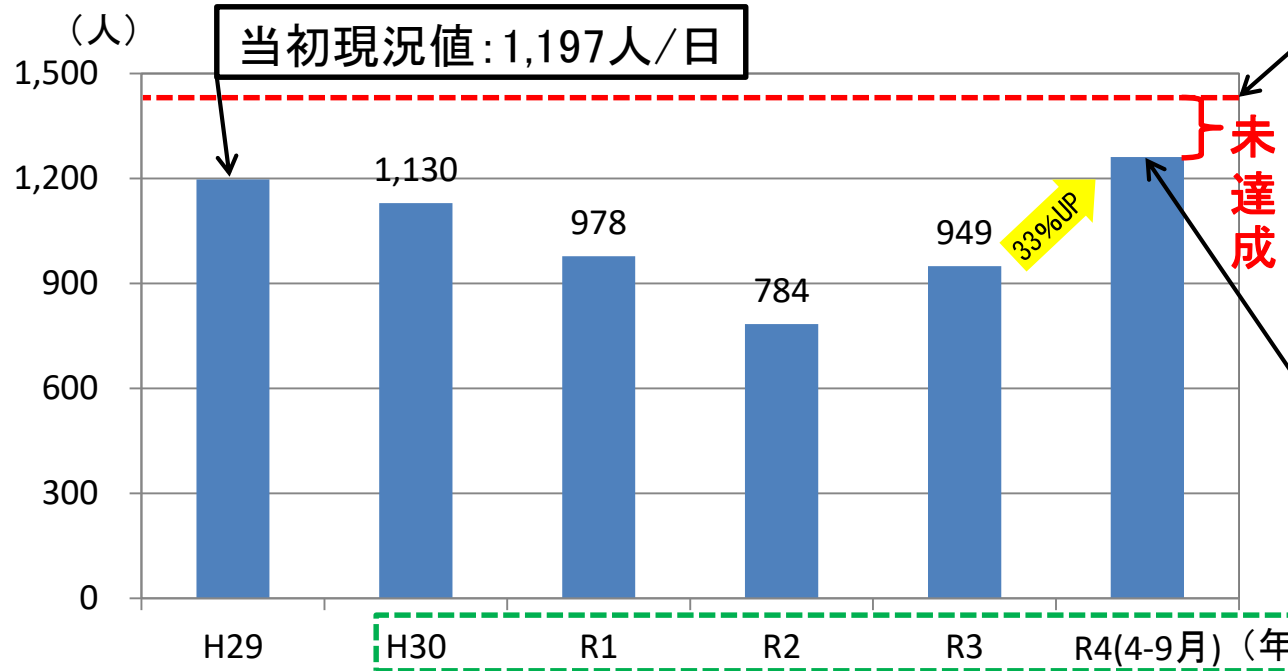
(目標値と実績値に差が出た要因)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出機会が減少したことなどにより目標値の50%となったが、コロナが収束すれば、ライカ1920やセンテラス天文館の開業効果などもあり1年以内の達成が可能と考える。

2. 事後評価シートについて

II 定量的指標の達成状況

指標3：鹿児島駅前停留場の日当たり乗降客数
※ICカード利用件数に基づく推計値による



目標値: 1,450人/日

目標達成度 ×

実績値: 1,261人/日
(目標値の87%)

計画期間

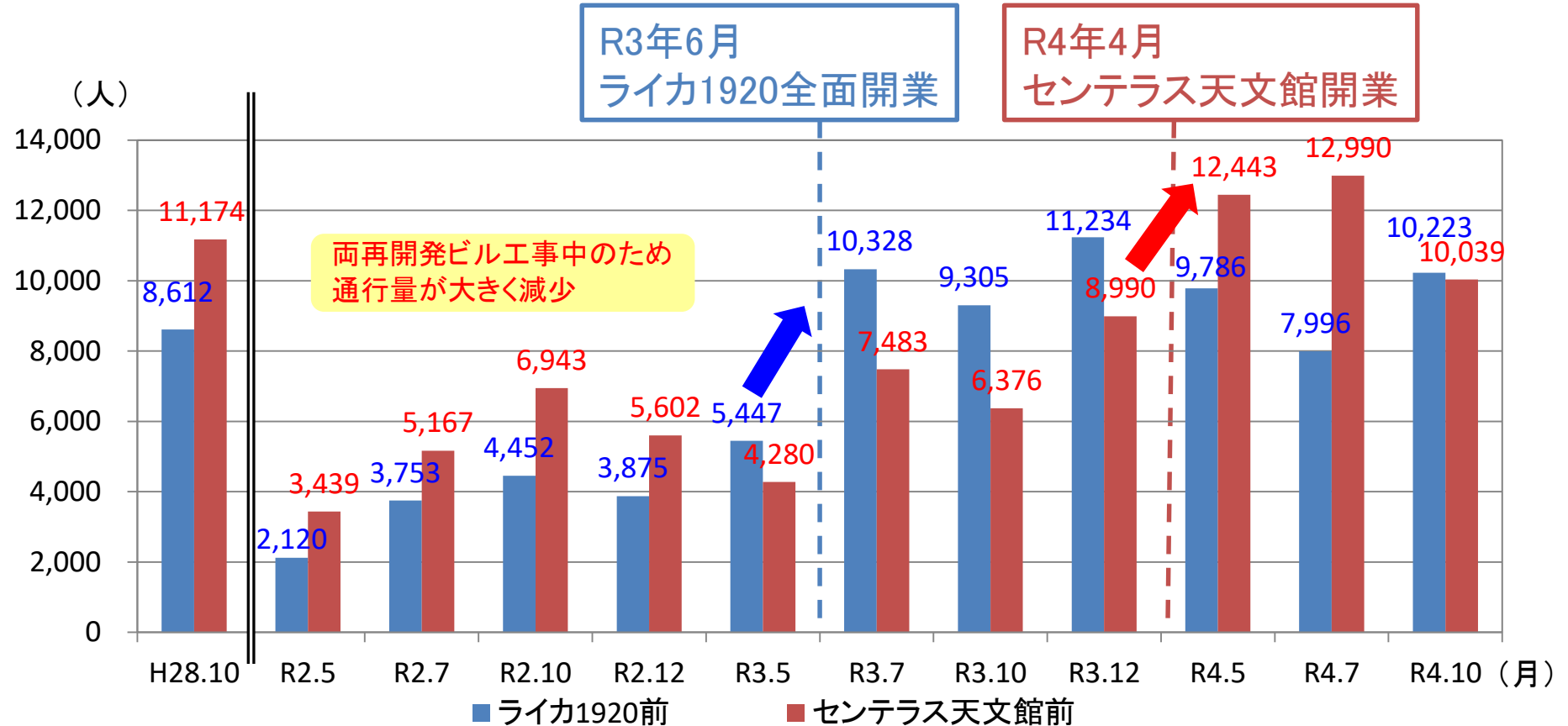
(目標値と実績値に差が出た要因)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出機会が減少したことなどにより目標値の87%となったが、停留場や駅前広場の整備などにより4年度は3年度と比べ33%増加しており、コロナが収束すれば、上本町磯線沿道で整備中の商業施設開業効果なども見込まれることから、1年以内の達成が可能と考える。

2. 事後評価シートについて

II 定量的指標の達成状況

ライカ1920及びセンテラス天文館前の歩行者通行量（人/日）



ライカ1920やセンテラス天文館の開業後に歩行者は増えており、コロナが収束すれば、全ての指標の目標は、1年以内の達成が可能と考える。